

## 1 受審事業者

経営法人・設置主体（法人名等）：恵那市	
名称：岩村こども園	種別：保育所型認定こども園
代表者氏名：園長 加藤 京子	定員：115名
所在地：岐阜県恵那市岩村町1545-1	TEL：0573-43-2209
受審回数： 7回	
評価年月日（評価認定書の記載日）：令和3年3月18日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和4年3月29日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和5年2月1日	

## 2 総 評

岩村こども園は、平成27年4月に学校法人恵峰学園が恵那市から公の施設に係る指定管理者の指定を受けて定員145名の保育所型認定こども園として業務を開始した。今回の継続評価は第三者評価事業に係る自己評価を通じて、今後の取組課題と捉えた事項を中心に評価した。

### ◇特に評価の高い点

- ・「えんだより」が、昨年から自治会の協力を得て町内全世帯に回覧板方式で回覧（200部提供）されるようになり、地域の人々が園の子どもたちの様子を知る機会が増え、地域からも多くの関心等が園に寄せられるようになるなど、「えんだより」が園と地域の架け橋となり、今後の地域交流の促進に期待が膨らむ。
- ・子どもの成長の個人差をよく理解し、一人ひとりの性格や特性を鑑み、指導に活かしている。子どもの良い所を探し、褒める姿勢が指導記録全体に感じられる。園と家族が一緒になって、子どもを育てるという姿勢がよく理解できる。
- ・コロナ禍、小学校との交流が困難なこともあったが、感染症が発生した場合の対応を相互で話し合うなど新たな連携も生まれている。特に連携する上で重要な年長児の就学については、就学前は勿論のこと、就学後も1年生の先生と昨年度の園の担任とが情報交換を行うなど、子どもに対してきめ細かな対応が行われている。

## 3 第三者評価結果に対する事業所のコメント

第三者評価を受けさせて頂き、もう8年が過ぎる事となります。何度こうした場を踏んでもドキドキしながら望んでいますが、今回も好評価を頂きありがとうございました。私達が送った資料の隅々まで目を通して頂き、的確なアドバイスを頂いた事が本当にありがたかったです。特に今回、「この園は、何でも良しとせず、戦いながら保育をしている」と言って頂いた事がずっと残っています。日々の保育は大変な時もありますが、解ってもらえる人がいる事は、励みになります。今後も先生や子ども達が明るく、元気のいい岩村こども園を目指したいと思います。お世話になりました。

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
前回評価結果：a 園の教育・保育の目標を、ホームページ、園だより、園長のわくわくだより等を通じ、積極的に周知を図っている。また、市においても「恵那市の教育」のパンフレットを作成し、広く保護者等に対し、基本理念等について周知に努めている。	
施設の取り組み内容 園独自の理念を職員室各保育室にも掲示した。	
継続評価結果 園の教育・保育の目標を「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」、「入園のしおり」、「えんだより」及びホームページ等で周知を図っている。なお、今年度に入り職員で約半年間の協議を重ねて新たに園児、保護者、職員の三者が共感、共有できる園独自の保育理念【「遊びは学び！決めて、考えて作り出し なかまと育つ子」】を補完的に策定して公表するなど、現場目線を大切にしている。	

### I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
前回評価結果：a 指定管理者である恵那市の教育・保育に係る中・長期的なビジョンが示されており、園では市の計画に則り、運営が行われている。	
施設の取り組み内容 園の全体的な計画に、年間の行事からマニュアルまで入っているが、年度当初には見直しを必ず行っている。	
継続評価結果 指定管理者である市が「第2期子ども・子育て支援事業計画」（期間；令和2年度～同6年度）の中で保育ニーズを充足する体制整備や教育・保育の事業量の見込み等示しており、園ではこの計画を基に定員や受入れ児童の確保並びに職員体制等について、法人本部（事務局）や市と協議しながら事業計画に反映させている。	

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>経営の改善については、法人本部と相談しながら、園運営に尽力している。また、定期的に園運営に係るアンケートや職員アンケートを行い、業務の改善に努めている。また、園長が保育実践の手本となり、指導を行っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>早番、延長時間の子どもは、混ぜずに年次別に見ている。未満児も2才と0・1才は別に見ている。日々の保育も、クラス単位で行う。プールもクラス毎に入る時間を設定。懇談会もクラス別に遊戯室で行う等、感染への十分な配慮をしている。日々の保育にも園長自ら、手本を見せたり、体験を話し指導している。各個人の学習目標の進捗状況など面談で聞くようにしている。</p>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>年度当初に職員は各自の学習目標を掲げると共に7月には職務上の自己評価を行い、9月には学習目標や自己評価を基に園長との個別面談を行う一連の方式をルール化して、人事、労務、働きやすい環境整備等の改善課題の掌握に努めると共に現場対応を超える諸課題等については法人本部の事務局長や理事長と協議するなど、経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>職員が希望する研修は、出来る限り参加できるように、管理者が配慮している。職員の希望がない場合でも、参加した方が資質の向上に繋がると思われる研修については、管理者が参加を促している。コロナ禍で外部の研修が中止になる中、個人学習や園内の学習会を開催するなど、資質向上への取組を行っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>ズームでの研修が多くなったが、保育中に受けられるよう人員の配慮をし、順次受けている。その報告は職員会で行っている。職員の希望する研修は極力受けられるよう配慮している。</p>	

### 継続評価結果

市や県あるいは保育関係団体等が主催する研修会を中心に、年度当初に職員の希望や職務の内容、勤務経験年数等を勘案して年間研修計画を策定している。Zoomによる研修も含めて多くの職員が研修に参加している。その他園内研修を毎月1回開催し実務の向上に資するなど、職員一人ひとりに対する多様な教育・研修の機会を確保している。

## Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
前回評価結果：a 理念において「恵那の豊かな自然を生かし、地域に根差した保育・教育を目指す」ことを明示している。永年築いてきた、地域の人々との園庭草取りや芋掘り交流会、子どもたちが地域行事へ参加する相互交流を大切にし、取り組んでいる。また、園長は地域との交流を通して、地域情報の収集や連携に努めている。	
施設の取り組み内容 昨年、岩村の広報誌「ほっと岩村」に加え、園便りを町内の回覧で回してもらうようになったので、引き続き、岩村の乳幼児教育について知ってもらえるように今年度も続けている。子どもに持たせるだけだと祖父母は読まない人が多いし、地域の方に知ってもらえないけれど、町でいろんな方から、声を掛けてもらうようになっている。 子どもの様子を知って、マスクを縫って届けてくださる方、雑巾を縫って来てくださる方、カブトムシの幼虫を届けてくださる方など、園の子ども達に地域の方が関心を持って見ていてくださることが伝わってくる。引き続き、開かれた岩村こども園を目指していきたい。	
継続評価結果 地元自治会の広報誌「ホットいわむらだより」に園での遊びの様子や高齢者福祉施設の方々と交流等の記事が掲載されるなど情報の発信に努めている。また、昨年度から自治会の了解のもと「えんだより」が町内の全世帯に回覧（200部提供）されると、地域からも多くの関心が園に向けられるようになるなど、地域交流の促進に期待が膨らむ。	
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている	
Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
前回評価結果：a 保育を提供するにあたり、関係する行政機関、団体、学校、病院やボランティア団体等をリスト化し、職員への周知及び必要に応じ保護者へ情報提供を行っている。また、定期的開催される、小学校運営協議会や関係機関との連絡会議へ参画する連携体制を築いている。障害のある子どもの保育、家庭での虐待等が疑われる子どもへの対応は、関係機関とのネットワーク化を図り、	

連携や助言を受ける体制を確立している。
<p>施設の取り組み内容</p> <p>指定管理園ではあるが、恵峰学園や幼児教育課の方にも親身になって助けて頂いているし、地域では振興事務所や園医、学校等常に連絡を取り合い、協力できる関係にある。地域の方からの寄付で遊具や園庭の花、食育に繋がる野菜の苗等も頂いたり、さつまいもや大根拔きの経験もさせて頂いている。老人施設との交流では、遊戯を見せてあげたり、手作りの小物を頂いたり和やかに過ごしてくる。マスクや雑巾を届けて頂く事もあり、地域の繋がりはありがたく感じている。支援のいる子には、支援センター、保健センターとも連携している。</p>
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>市の行政機関を軸に学校、保健、療育センター等諸機関のほか、病院、消防、警察等緊急時対応に係る関係機関との連絡体制を園内全体に周知、徹底すると共に教育・福祉を中心とした関係機関連絡会議等に参加するなど連携の確保に努めている。また、支援等を要する子に対する個別対応等についても随時専門機関と連携して対応するなど、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>保育の開始にあたっては、目的・運営方針・保育内容等の重要事項を記した資料や「入園のしおり」を配布し説明を行い、保護者の同意を確認している。進級時は保育内容等を含めて説明し、保護者の就労状況による保育時間等の変更は、事前説明のもと意向をくみ取り行っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>保育や行事の変更については、保護者会長さんを始め、4役にも相談している。一方的な変更などはありません。急な天候による変更等については、決定時間など保護者に前もって伝えている。</p>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>「入園にむけて」の案内を事前に入園予定の家庭に配布すると共に、「入園のしおり」（保存版）を作成して保護者に配布、説明している。また、仕事の都合などで保育時間の変更などが必要な場合の対応等についても個別具体的に説明している。</p>	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a

<p>前回評価結果：a</p> <p>「苦情申出窓口の設置について」及び「ご意見・ご要望の解決のための仕組みについて」を整備し、苦情解決責任者、受付担当者、第三者委員を設置する苦情解決体制を確立している。保護者に対する苦情解決の仕組みは「入園のしおり」を通して周知している。また、この仕組みを園内に掲示すると共に、「苦情受付」ポストを付設している。なお、苦情の事例は無い。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>園への意見が言いやすい雰囲気や常日頃の会話などから作り出し、クラス通信や懇談会の中で安気に声が上げられるようにしている。苦情解決の仕組みは、年度当初に紙面で知らせてある。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>「入園のしおり」で苦情相談窓口について保護者に説明すると共に「ご意見・ご要望の解決のための仕組みについて」や「苦情相談窓口の設置について」の案内を掲示するほか、「苦情受付箱」を設置するなど、仕組みを確立して周知している。なお、苦情の受付事例は無い。</p>	
<p>Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>相談等の申し出は、電話、「苦情受付」ポストの活用、第三者委員への聞き取りや保護者懇談会、職員による日常的な言葉かけを通して、何時でも相談窓口を閉ざさない姿勢を伝えている。また、保護者に対し、専門的な相談や相談相手の選択方法等への配慮、気兼ねなく相談しやすい場所の確保について、より良い環境づくりに努めている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>保護者が子どもの事で悩んでいたり、そんな素振りのある時には、声を掛けたり、担任、園長も相談にのっている。別室で、個別で話せるよう配慮している。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>「入園のしおり」で意見や相談がある場合の方法の周知のほか、保護者会等の機会に園の相談等の対応について説明して保護者間での周知についても協力を仰いでいる。また、相談に際しては相談者のプライバシーに配慮した相談環境を整えて対応している。</p>	
<p>Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>保育・教育等に関する保護者の園評価やアンケート調査、日常の保護者との対話、連絡ノートの意見や要望は、苦情解決の仕組みに準じて対応する体制を整えている。これらの意見・要望等は仕分けし、園長、副園長、クラス担当からなる検討委員会で改善課題を明らかにし、保育の改善に繋げる取組を行っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>保護者からの相談、質問には、その日のうちに答えるよう心がけている。又、保護者によって心身の問題や家庭での苦難等について話される場合もあるが、状況に思いを寄せながら、園で出来る限りの方法で応援している。連絡帳などで相談を受けた場合には、園長に相談し検討し、速</p>	

やかに対応している。	
<b>継続評価結果</b> 市内全園で実施している「保護者による園評価」、運動会や生活発表会等主要行事実施後のアンケート調査のほか、保護者懇談会などでの意見等には結果を取りまとめ、回答や説明等については職員会議等で協議しながらできるだけ速やかに対応している。また、日々の保育等に関する事項については朝夕の送迎時等の保護者の様子や連絡帳等に留意し、クラス担任、副園長、園長が個別に又は役割分担して迅速に対応している。その他、相談等の内容によっては専門機関と連携して対応している。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>災害への備えは、「台風・水害・土砂災害等の防災」や「地震対応」等のマニュアルを作成し、定期的に避難・消火・子どもの引き渡し訓練を実施し、子どもの安全確保に取り組んでいる。また、あらかじめ災害時の職員体制のもと、避難ルート等の確認、自治体等との連携体制、食糧や備品類の保管、保護者等への緊急時の一斉配信システムの整備を行っている。なお、災害時の安全確保のほかに保育の継続について検討を期待する。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>毎月の避難訓練や、小中合同親子引き渡し訓練等の後には必ず反省をし、次につなげるようにしている。緊急時や大雨の際の迎えについては、緊急配信システム「すぐーる」を取り入れている。</p>	
<b>継続評価結果</b> 毎月の避難訓練や、小中合同親子引き渡し訓練等の後には必ず反省をし、次につなげるようにしている。特に、この地域として危険度の高い地震に対する訓練を多く取り入れるなど、地域の特性をよく理解し、取り組んでいる。	

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>指導計画の見直しは、年度初め新たなクラス担当のもと所定の体制により、基本となる目標・ねらい等の保育支援内容を、PDCAのサイクルを活用し行っている。なお、変更に関して保護者の意向や同意等に配慮し、計画に反映するよう努めている。</p>	

<p>施設の取り組み内容</p> <p>年度当初の計画を立てるに当たって、前年度の振り返りを行い、子どもにとって、保護者にとってもどうかを基準に考え変更し、全体の計画に入れている。又、月の指導計画立案に際しては前月の振り返りから行っているので関係する職員には周知されている。指導計画が年次によって変更せざるを得ないような場合には、職員会で相談し、方法をみんなで考え周知している。支援児の指導計画も、月ごとに見直し、翌月の計画を立てている。目標も学期ごとの反省をもとに次につなげている。</p>
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>計画を立てるに当たっては、前年度の振り返りを行い、子ども・保護者にとってどうかを基準に考え変更し、全体の計画に入れている。又、月の指導計画立案は前月の振り返りから行い、関係する職員には周知されている。指導計画が年次によって変更せざるを得ないような場合には、職員会で相談し、方法をみんなで考え周知している。支援児の指導計画も、月ごとに見直し、翌月の計画を立てている。目標も学期ごとの反省をもとに次につなげている。</p>

**評価対象Ⅳ 保育内容**

**Ⅳ-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開**

	第三者評価結果
<p>Ⅳ-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。</p>	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>基本的な生活習慣の確立を大切にしようとする姿勢が窺える。とりわけ、「できるかな 5！」と称した、衣・食・排泄・睡眠等の生活習慣に関わるチェック表により、子どもたちの意識向上に努めている。通年ではなく年3回、2週間単位の間歇的な働きかけも、むしろ子どもたちの心に強く作用するものであり、よく考えられているとともに、確かな意気込みを感じる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>生活習慣、例えば3歳でまだ握りスプーンを持っているなど特に気になる事はクラス別懇談会や、通信で方法を知らせ、家庭と一緒に進めていくようにしている。睡眠の大事さについても懇談会資料をつくり説明した。</p>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>子どもの成長の個人差をよく理解し、一人ひとりの性格や特性を鑑み、指導に活かしている。子どもの良い所を探し、褒める姿勢が指導記録全体に感じられる。園と家族が一緒になって、子どもを育てるという姿勢がよく理解できる。</p>	

**Ⅳ-3 健康管理**

	第三者評価結果
<p>Ⅳ-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	a

<p>前回評価結果： a</p> <p>コロナ禍において、一時、歯磨き指導を中止していたが、9月より再開している。その間は、お茶を最後に飲むよう指導し、口腔内の衛生状態を保つよう努めるなど、常に配慮がなされている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>歯の大事さ、健康の大事さ、コロナの怖さ等、紙芝居や絵本を使って子ども達に指導している。内科健診、歯科検診の結果は、当日の内に家庭に知らせている。こうした健診中も、わからない事は医師に確認したり、聞いておかなければならない事は、事前に把握して受けている。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>歯の大事さ、健康の大事さ、コロナの怖さ等、紙芝居や絵本を使って子ども達に指導している。内科健診、歯科検診の結果は、当日の内に家庭に知らせており、クラスだよりでも共通して大切な点はお知らせしている。</p>	
<p>IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果： a</p> <p>現在アレルギー疾患の子は1名のみであるが、市で統一的に作成しているマニュアルに従い、慎重に対応している。本年はコロナ禍により、この分野の研修は行われていないが、例年は必ず参加をしている。リモートアクセスの準備が整っており、今後、適当な研修があれば、参加の意向を持っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>恵那市統一のアレルギー対応をしている。常に家庭、担任、調理師での確認をし、間違いのないように除去食は色付きのお盆に一人分の容器に入ったものをのせている。万が一のことが起こった場合の対応も確認をしている。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>毎日のアレルギー児への給食提供時のチェックは、マニュアルに添い確実にされている。また、アレルギー児の配膳はパーテーションで区切り、かつ最初に配膳するなど細心の注意を払いながら、行われている。</p>	

#### IV-4 食事

	<p>第三者評価結果</p>
<p>IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果： a</p> <p>野菜栽培活動を絡めた食育計画が、立案、実行されている。畑は借用地で、園より1kmほど遠方にあるが、歩いて通っている。安全な道であるとともに近隣住民との触れ合いがあり、食にま</p>	

つわる体験をより豊かなものになっている。なお当園の昼食の提供はおかず等のみで、ごはんは持参となっている。好ましい習慣という側面もあるが、一部の親からはご飯の提供が求められており、今後、十分な話し合いを含む検討を求めたい。
<b>施設の取り組み内容</b> コロナ禍で静かに食事をするのだが、過度な緊張の無いように配慮している。子どもの発達や健康状態にも合わせて柔軟に量も調節している。魚や肉など命を頂いて大きくなれる事に感謝の気持ちを持てるように働きかけている。
<b>継続評価結果</b> 数多くの野菜を育て、そして食すという食育計画が、立案され、実行されている。献立は市で作成されるが、保育教諭・調理員が連携し、美味しい給食が提供できるよう市に働きかけるなど、一体的な取り組みが行われている。

## 評価対象V 子育て支援

### V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<b>前回評価結果：</b> a 保護者からの相談に応える体制は整っており、記録も確実に残している。育児不安に陥りやすい幼少期の子どもへの親に対する支援が、良く行き届いていると理解できる。	
<b>施設の取り組み内容</b> 保護者が悩みなど、お便り帳に書いてみえる場合には、必ず園長に見せてくれるので、担任と一緒にどう答えるのかを考えたり、話し合った方が良い場合には、園長も同席し話すようにしている。コースの変更などもし易い雰囲気がある。相談を受けた場合には、先延ばしをせずに相談に応じるようにしている。	
<b>継続評価結果</b> 保護者からの相談に応える体制が整っており、記録も確実に残されている。育児不安に陥りやすい幼少期の子どもへの親に対する支援が、適切に行われている。	

## 評価対象VI 保育の質の向上

### VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<b>前回評価結果：</b> a 各職員が「今年度の学習目標」として自らの言葉で、具体的に表明している。素直な意気込みは感動さえ覚えるが、これに対する直接的な振り返りのまとめを残すと、さらに前進が期待できるのではないだろうか。一方で、正式の自己評価は、市と連携して作成された様式に従っている。	

振り返りは、他の資料も合わせ、年次会や職員会議で検討し次に生かす努力がなされている。
<p><b>施設の取り組み内容</b></p> <p>園長の学期ごとのアンケートで、各自の保育や仲間関係などへの思い、振り返りをおこなっている。月案を立てる時には、年次での前月の反省を踏まえて、子どもの状態に合わせた翌月の計画を立てるようにしている。園内で保育実践の取り組みを報告し、良い所や、こうしていくといいと思う事をみんなで出し合い、次の保育に繋げている。</p>
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>各職員は、「今年度の学習目標」で自らの目標を明らかにし、また園長の学期ごとのアンケートで、各自の保育や仲間関係などへの思い、振り返りが行われている。月案作成時には、年次での前月の反省を踏まえ、子どもの状態に合わせた翌月計画を立てるようにしている。園内での保育実践の取り組みを報告し、いい所や、こうしていくといいと思う事をみんなで出し合い、次の保育に繋げていくといった体制が構築されている。</p>

**評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）**

**Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション**

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>当園は地域唯一の保育園である。従って保護者会も、小さなコミュニティに包摂された組織であり、必ずしも活発な活動を行っているわけではない。ただし園との一体感は強く、プールの組み立て等、協力し合う姿は鮮明であり、良好な関係を保っている。</p>	
<p><b>施設の取り組み内容</b></p> <p>園の行事や役員会などの持ち方など、前もって連絡したり、必要な手紙を作って頂いたりしている。七夕の笹竹を届けて貰ったり、実際の七夕祭りの様子を伝えている。</p>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>地域で唯一のこども園であることもあり、保護者の多くは当園を卒園といった事情もあって、活発な保護者会活動が行われている。園との話し合いも頻繁に行われており、連携がよくできている。</p>	

**Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携**

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>小学校とは隣接しており、お互い地域唯一の機関であるため、交流・連携は活発である。その様子は、Ⅳ-2-(10)に記したように、連携計画をきちんと立て、実行していることから窺い</p>	

知ることができる。

#### 施設の取り組み内容

今年度も感染症は収まっていないが、お互いに連携を取っていきましょうと、感染症が出た場合の連絡なども出来ている。又、年長児の巡回相談やその後の支援センターとの話し合いなどにも参加して頂け、来年度就学児について話が聞けてよかったと言って頂けた。親子引き渡し訓練に於いても、昨年まで園前の道路が混んでしまう事についても学校でドライブスルー方法を変えて頂く等、お互いに協力していく良好な関係が出来ている。1年生の先生と昨年度の園の担任との情報交換も毎年行っている。

#### 継続評価結果

コロナ禍、交流等が困難なこともあったが、感染症が発生した場合の対応を相互で話し合うなど新たな連携も生まれている。特に連携する上で重要な年長児の就学については、就学前は勿論のこと、就学後も1年生の先生と昨年度の園の担任とが情報交換を行うなど、子どもに対してきめ細かな対応が行われている。